



ニセコ町

防災

ガイドマップ

ニセコ町公式ホームページ <https://www.town.niseko.lg.jp/>

ニセコ町公式 Facebook

ニセコ町公式 Twitter

ニセコ町公式 LINE



@nisekotown



@nisekocho



@nisekochou

保存版

2021年3月

みんなで「万が一」から命を守るための一冊

災害用伝言サービス

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を家族で確認しておきましょう



災害用伝言ダイヤル

171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。



録音

171 →

1 →

0136 →

□□□□□□ →

→

伝言の録音



再生

171 →

2 →

0136 →

□□□□□□ →

→

伝言の再生

案内放送が流れます

市外局番

被災地の方の電話番号



携帯電話災害用伝言板サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。

※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

※詳しい内容はNTTのホームページで確認してください。 [ホームページ](https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/) <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

町民のみなさまへ

自然災害に対応するためには町民一人ひとりの活動や地域内の協力による活動が重要です。災害による被害をできるだけ少なくする(減災)ためには、「自助」・「共助」・「公助」3つの連携が必要であると言われています。

- 自助・・・町民一人ひとりが自分の命は自分で守る。(自ら取り組む防災)**
- ・日ごろから、災害が発生した時の避難行動を考えておく
 - ・防災・減災の考えを自分の生活習慣に取り入れる
(日常生活の習慣になっている行動が役に立つときがある)
- 共助・・・町民が連携してまちの安全はみんなで守る。**
- ・自分たちの地域は自分たちで守る
 - ・地域の連携、地域ぐるみの協力体制を活かす「自主防災組織」
- 公助・・・行政が災害に強いまちづくりを進める。**
- ・地域防災力向上
 - ・自助や共助では解決できない問題を行政が支援

災害に立ち向かうためには、ご家族や地域で「防災用品などを日ごろから備える」、「自分の家の安全対策をししておく」、「地域の危険箇所を知る」、「災害時の連絡方法や避難方法について話し合う」など、日ごろからの「備え」と「心構え」が必要です。

この防災ガイドマップには、自然災害・原子力災害・防災対策に関する知識と備えをまとめています。「ニセコ町防災ガイドマップ」を身近な場所に保管していただき、ご家庭や地域といった身のまわりでどのような災害の危険が及ぶのかを考え、被害をできるだけ少なくするために、防災・減災について考える際の参考にいただければ幸いです。

ニセコ町

索引 Index

町民のみなさまへ	1	特別警報をご存じですか?	21
防災情報	2	土砂災害警戒区域と特別警戒区域とは	22
原子力防災対策①～⑤	3～7	風水害対策	23
指定避難場所・避難所一覧	8	地震対策 地震発生! そんなときどうする	24
土砂災害・河川洪水防災マップ (ハザード情報・避難施設・その他)	9～20	火災対策 雪害対策	25
・全体図 中心図(市街地域)		わが家の防災対策&チェック	26
・広域図地域(東部、西部、南部、北部)		非常時持出品の準備&チェック	裏表紙

発行:ニセコ町(問い合わせ:総務課 0136-44-2121)

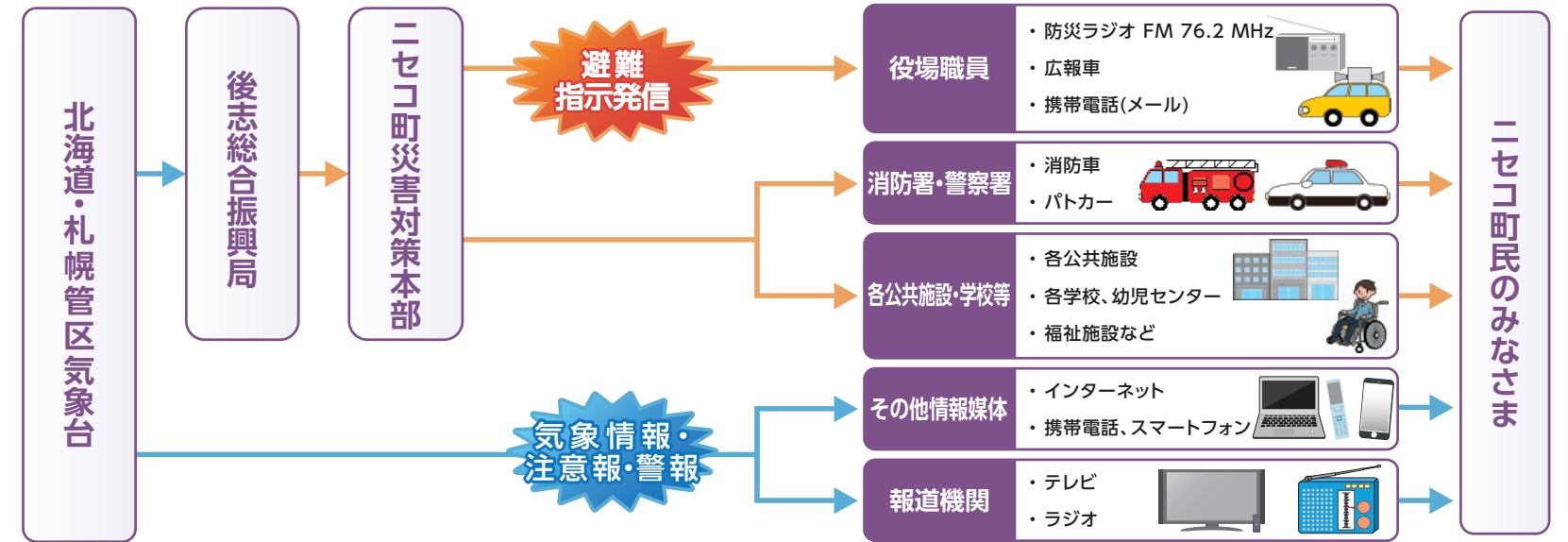
「この地図はニセコ町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の市街図を使用し、調製したものである。(承認番号) 二総号」
「この地図の作成に当たっては、北海道知事の承認を得て、北海道作成の5千分の1地形図を使用したものである。(承認番号 平成30年12月27日 森林第688号)」

本書は公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて作成しています。

防災情報

災害情報の伝達経路

状況に応じて、気象情報・注意報・警報と避難指示などは、図のように町民のみなさまに伝えられます。



町が出す避難情報と国や北海道が出す防災気象情報

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いた避難指示の避難情報を発信します。**警戒レベル5【緊急安全確保】**、**警戒レベル4【避難指示】**または**警戒レベル3【高齢者等避難】**が発令された場合は、避難行動をとりましょう。

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報	
		避難情報等	
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	
警戒レベル4	危険な場所から全員避難	避難指示	
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)は避難	高齢者等避難	
警戒レベル2	ガイドマップ等により、自らの避難行動を確認	洪水注意報 大雨注意報 (気象庁が発表)	
警戒レベル1	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)	

■避難時の行動を示す「避難情報」については、今後、見直しされる場合があります。

わが家の防災・緊急情報メモ

災害時・緊急時の連絡先などの情報をまとめておきましょう。災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

わが家の避難場所 わが家の集合場所

家族との連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	メモ(病症・病歴、携帯電話番号、勤務先など)
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+/-) 型	
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+/-) 型	
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+/-) 型	
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+/-) 型	
	T・S・H・R 年 月 日	Rh(+/-) 型	

「原子力防災対策」の基本事項

【対策の目的】

原子力災害時に町民の皆さんの生命及び身体の安全を確保し、放射線から身を守るためには、行政機関などからの指示（防護措置といいます。）を迅速・適切に実施することが重要となります。

町民の皆さんが落ち着いて適切な行動がとれるよう、基本となる事項についての情報の提供に努めます。

【原子力災害の特殊性】

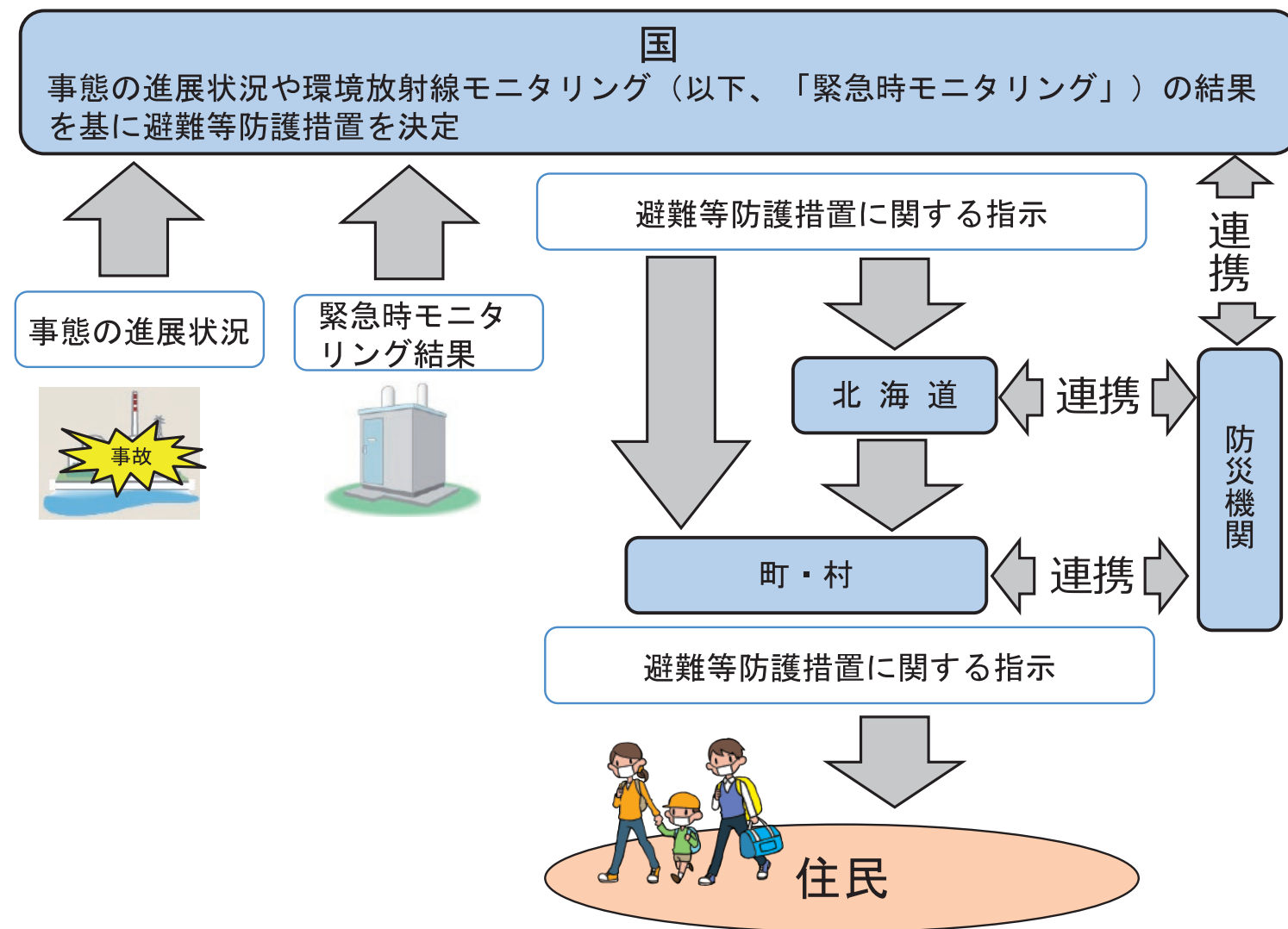
- 放射線は目に見えず、臭いもなく、人間が感じることができません。
- 被ばくや汚染により復旧・復興作業が極めて困難です。
- 放射線被ばくから長期間経過後に健康への影響が現れる可能性があります。
- 専門的知識を有する機関の役割、当該機関の指示、助言等が重要となります。

※ 原子力災害対策指針に定められた「防護措置」の主な種類は、次のとおりです。

- ①屋内退避
- ②避難及び一時移転
- ③安定ヨウ素剤の予防服用
- ④避難退域時検査
- ⑤飲食物の摂取制限

※ 原子力災害対策指針は、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、2012年10月に原子力規制委員会が新たに策定したものです。

避難等防護措置に関する指示が出される仕組みと伝達経路



PAZとUPZについて

皆さんの防護措置を実施するに当たって、適切な行動の確保と混乱の防止を図るため、原子力災害対策を重点的に実施すべき区域を次のとおり設定しています。

PAZ：予防的防護措置準備区域

特定の事故事象が発生したら直ちに避難等を実施する区域。泊発電所から概ね5km圏内の地域。

UPZ：緊急時防護措置準備区域

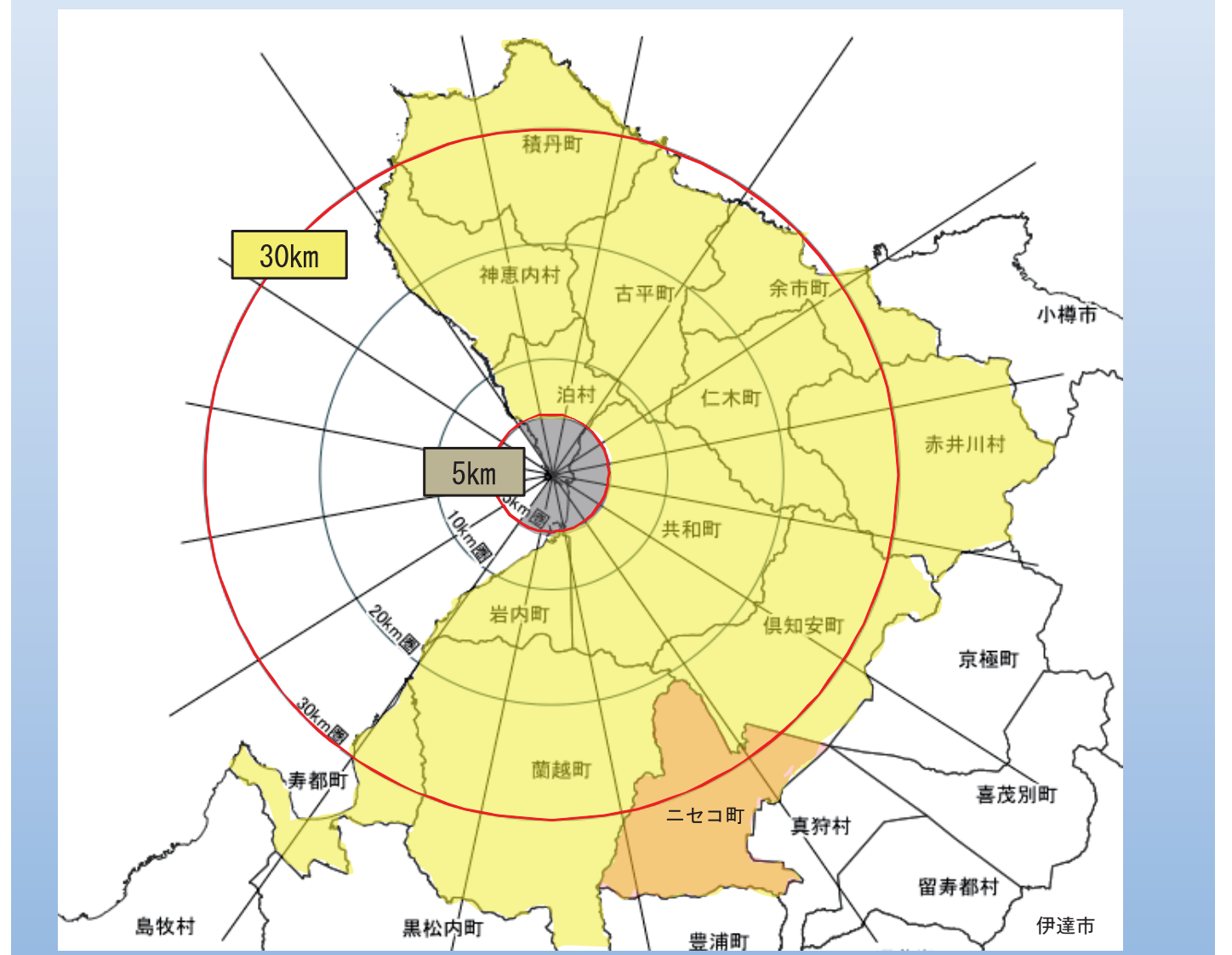
事故の不確実性や急速に進展する事故の可能性などを踏まえ、屋内退避や避難等を準備する区域。泊発電所から概ね30km圏内の地域。

ニセコ町は、全域をUPZと定めています。

※「原子力災害対策重点区域」とは、あらかじめ異常事態の発生を仮定し、原子力災害に特有な対策が講じられる区域です。

PAZ：Precautionary Action Zone の略称
UPZ：Urgent Protective Action Planning Zone の略称

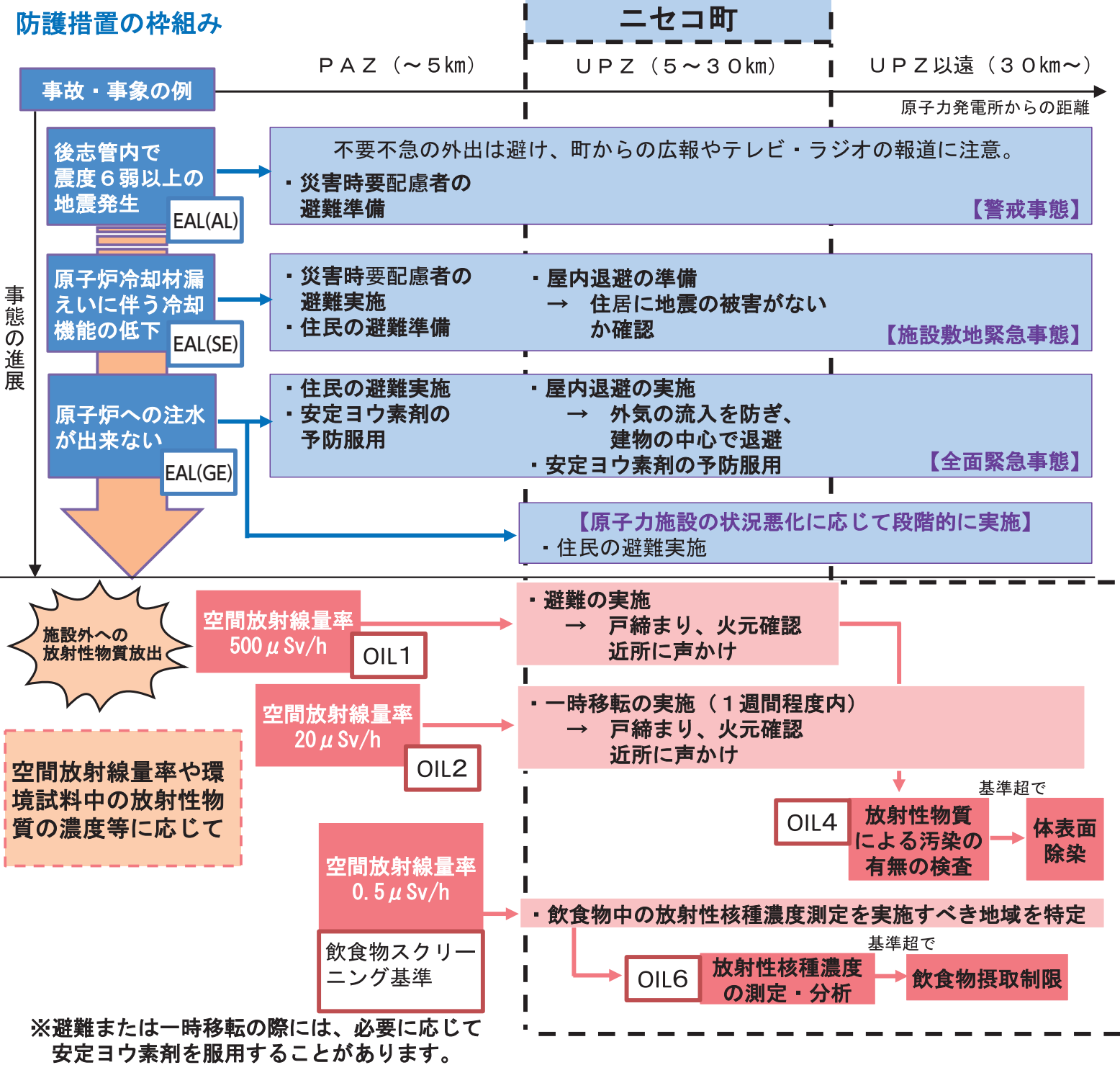
PAZ及びUPZ



緊急時における防護措置の考え方

国では、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、放射性物質の放出開始前から必要な防護措置を講じるため、原子力災害対策指針（以下「指針」）を策定しました。
この指針では IAEA（国際原子力機関）等が定める防護措置の枠組みの考え方を踏まえて、初期対応の段階から、施設の状態に応じて緊急事態の区分を決定し、予防的防護措置を実行するとともに、空間放射線量率など観測可能な指標に基づき緊急時防護措置を迅速に実行できるよう意思決定の枠組みを構築しています。

- ※EALとは？
- 原子力施設の状態に応じた、緊急事態区分を判断するための基準です。
 - 緊急事態を3つに区分し、各区分における原子力事業者、国、地方公共団体が果たすべき役割（予防的防護措置）を定めています。
- ※OILとは？
- 空間放射線量率や環境試料中の放射性物質の濃度等の計測可能な値による防護措置実施の判断基準です。

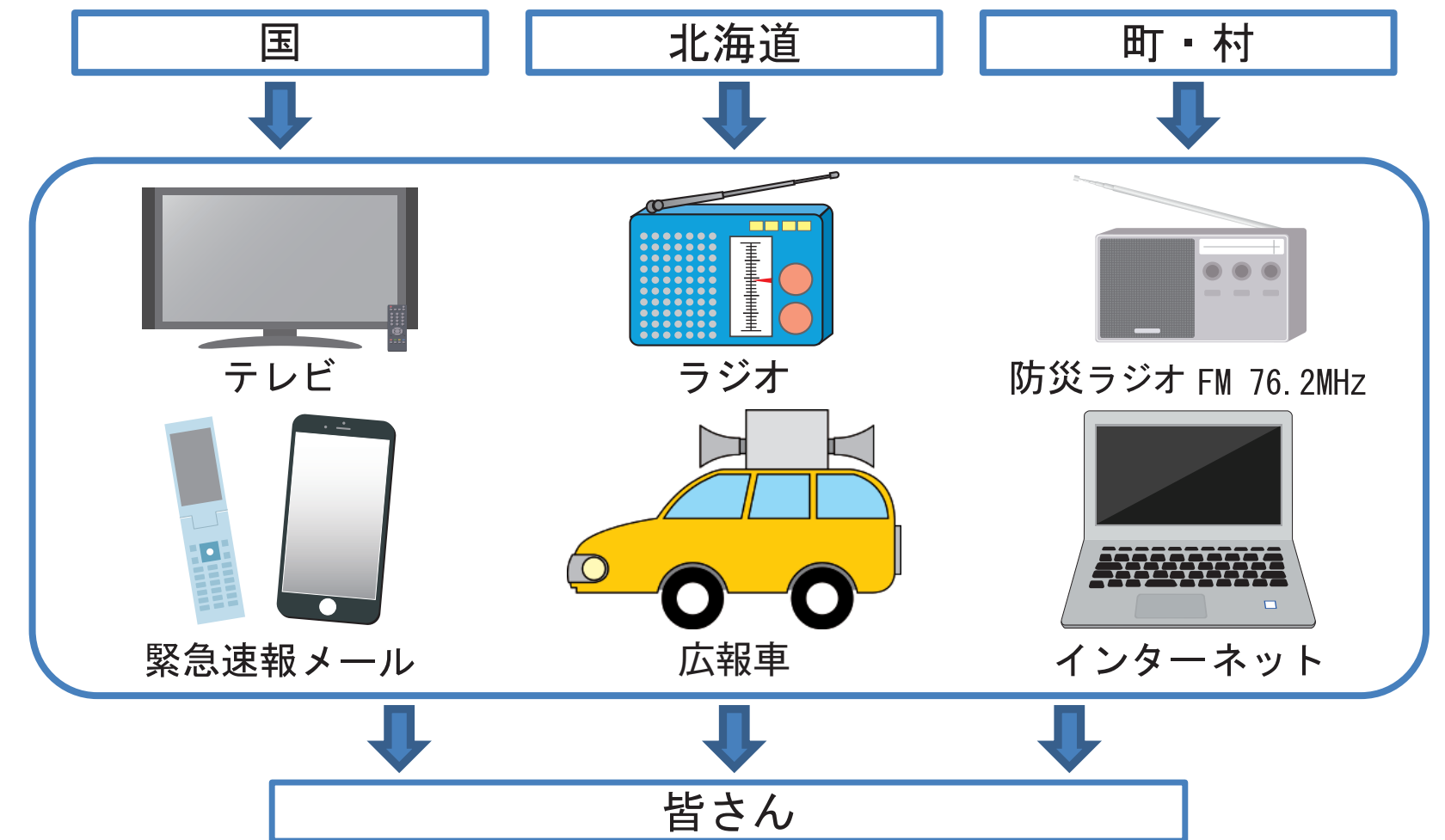


どのように知らせてくれるの？

泊発電所において事故などが起こった場合、国や道、町からテレビ、ラジオ、防災ラジオなど様々な手段を使って、皆さんのとるべき行動など必要な情報を速やかにお知らせします。

主な広報事項は、次のとおりです。

- ・事故の概要
- ・泊発電所における対策状況
- ・災害の現況及び今後の予測
- ・町及び道並びに防災機関の対策状況
- ・町民等のとるべき措置及び注意事項
- ・その他必要と認める事項



【次の点に注意しましょう】

・近隣や町内会の人たちと情報を共有しましょう。



・うわさや憶測での行動はやめましょう。



・緊急を要する電話以外、電話の使用は控えましょう。



※原子力災害時の緊急情報は、こちらから

○緊急時情報ホームページ



<http://kinkyu.nsr.go.jp>

○緊急情報メールサービス

事前の配信登録により携帯電話、スマートフォンにメールでお知らせ

【携帯電話用】

<http://kinkyu.nsr.go.jp/m/>

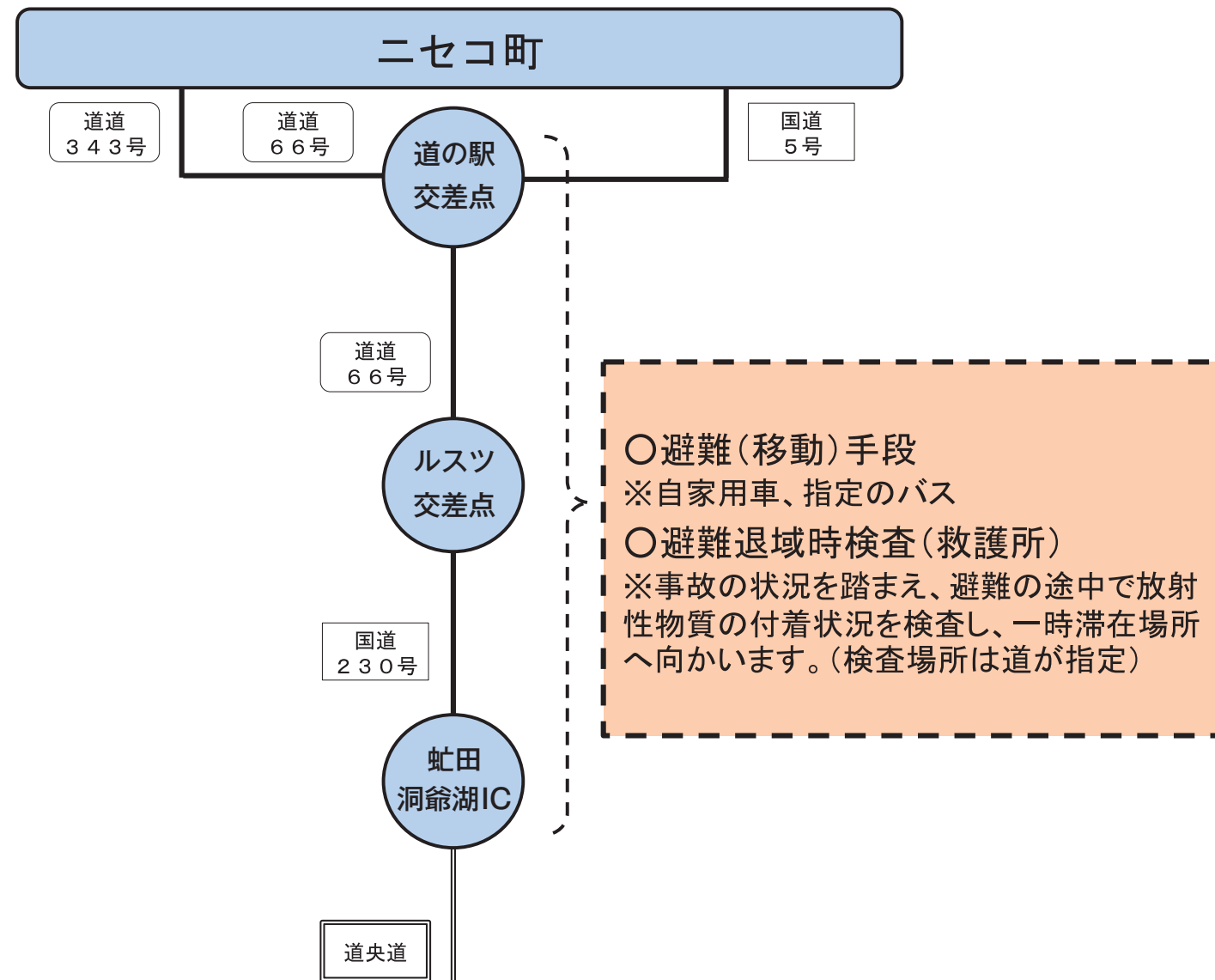


【スマートフォン用】

<http://kinkyu.nsr.go.jp/m/sp/>



避難経路（ニセコ町～札幌市）



○避難(移動)手段
※自家用車、指定のバス

○避難退域時検査(救護所)
※事故の状況を踏まえ、避難の途中で放射性物質の付着状況を検査し、一時滞在場所へ向かいます。(検査場所は道が指定)

一時滞在場所(札幌市白石区体育館)
・所在地：札幌市白石区南郷通6丁目北1 ・連絡先：011-861-4014

避難先(札幌市、北広島市内 宿泊施設12箇所)

避難経路		
避難経路	避難先	
ニセコ町	[基本経路] 道道66号→国道230号→道央道[虻田洞爺湖IC]	札幌市
	[その他避難経路] 道道66号→道道478号→国道276号→国道230号	

※気象及び交通状況により、上記の避難経路以外の経路への変更あり。

困ったときの連絡先

警察110		火災・救急119	
施設名	住所	電話番号	
ニセコ町役場	ニセコ町字富士見47番地	0136-44-2121	
倶知安警察署ニセコ駐在所	ニセコ町字本通105番地1	0136-44-2251	
羊蹄山ろく消防組合消防署ニセコ支署	ニセコ町字富士見74番地	0136-44-2354	
北海道電力株式会社倶知安営業所	倶知安町南1条西2丁目18	0136-22-0150	
NTT東日本北海道支店	札幌市中央区大通西14丁目7番地	0120-444-113	
小樽開発建設部 倶知安開発事務所(国道)	倶知安町北7条東1丁目4番地9	0136-22-0133	
小樽建設管理部 真狩出張所(道道)	真狩村字真狩117番地2	0136-45-2136	
小樽建設管理部 蘭越出張所(道道)	蘭越町蘭越町416番地	0136-57-5121	

医療機関

施設名	住所	電話番号	備考
ニセコ医院	ニセコ町字富士見2番地11	0136-44-2201	
昆布温泉病院	蘭越町字黄金118番地	0136-58-2231	
倶知安厚生病院	倶知安町北4条東1丁目2番地	0136-22-1141	●急患受付 365日 24時間対応
ニセコ脳神経外科	倶知安町北3条東7丁目3-9	0136-21-5500	

原子力災害時におけるバス避難集合場所等

北海道及びニセコ町が手配するバスを利用して避難する場合の集合場所は次のとおりです。
また、原子力災害時に屋内退避の指示があった場合は、自宅などで屋内退避を行います。複合災害などの状況に応じて、町の公共施設などで屋内退避を行う必要がある場合には、これら集合場所で屋内退避を行います。

No.	地	域	集 合 場 所	掲載頁	No.	地	域	集 合 場 所	掲載頁
1	アンヌプリ地区		いこいの湯宿は Tel 0136-58-3111	P11	7	有島地区(有島1~3)羊蹄地		有島アートギャラリー(有島記念館) Tel 0136-44-3245	P20
2	曾我地区(西山・滝台)		曾我活性化センター Tel 0136-44-2121(ニセコ町役場)	P14-17	8	有島地区(ニセコハイツ・ハイム・グレン・ブームきら里)		デイサービスセンター Tel 0136-44-1950	P17
3	曾我地区(東山・北山・東山ペンション村・メッツァ・東山の丘)		ザ・グリーンリーフ・ニセコビレッジ Tel 0136-44-3311	P12	9	市街地区(本通6・有島団地・コーポ有島・望羊団地・さくら団地)		ニセコ高校 Tel 0136-44-2224	P20
4	ニセコ地区(市街地区(本通7~9・富士見))		ニセコ小学校 Tel 0136-44-2252	P19	10	里見地区・市街地区(本通10~11・富士見団地・本通団地・新有島団地・羊蹄団地・しらかば)		ニセコ町総合体育館 Tel 0136-44-2034	P19
5	西部地区・福井地区宮田地区・元町地区		ニセコ中学校 Tel 0136-44-2321	P20	11	市街地区(本通1~5)		ニセコ町民センター Tel 0136-44-2234	P19
6	中央地区		ニセコ駅前温泉 綺羅乃湯 Tel 0136-44-1100	P19	12	近藤地区		近藤小学校 Tel 0136-44-2852	P18

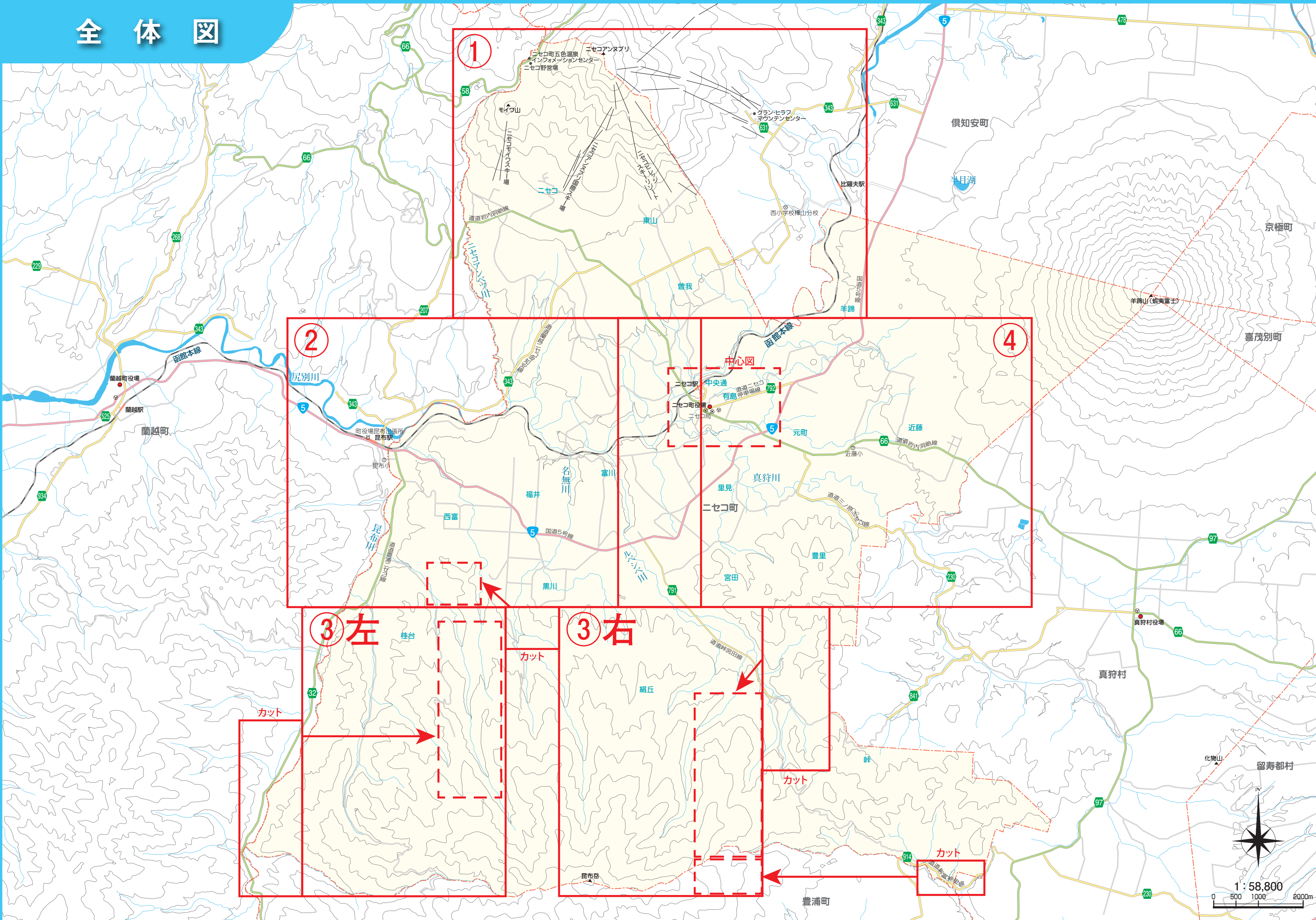
★緊急時におけるあなたの集合場所について、日ごろから確認しておきましょう。
★集合場所については、上の表に印をつけるなどして、わかりやすくしておきましょう。
★ご不明な点は、ニセコ町役場 総務課 (Tel: 0136-44-2121) にご確認ください。【特別な配慮が必要な方はご連絡願います。】

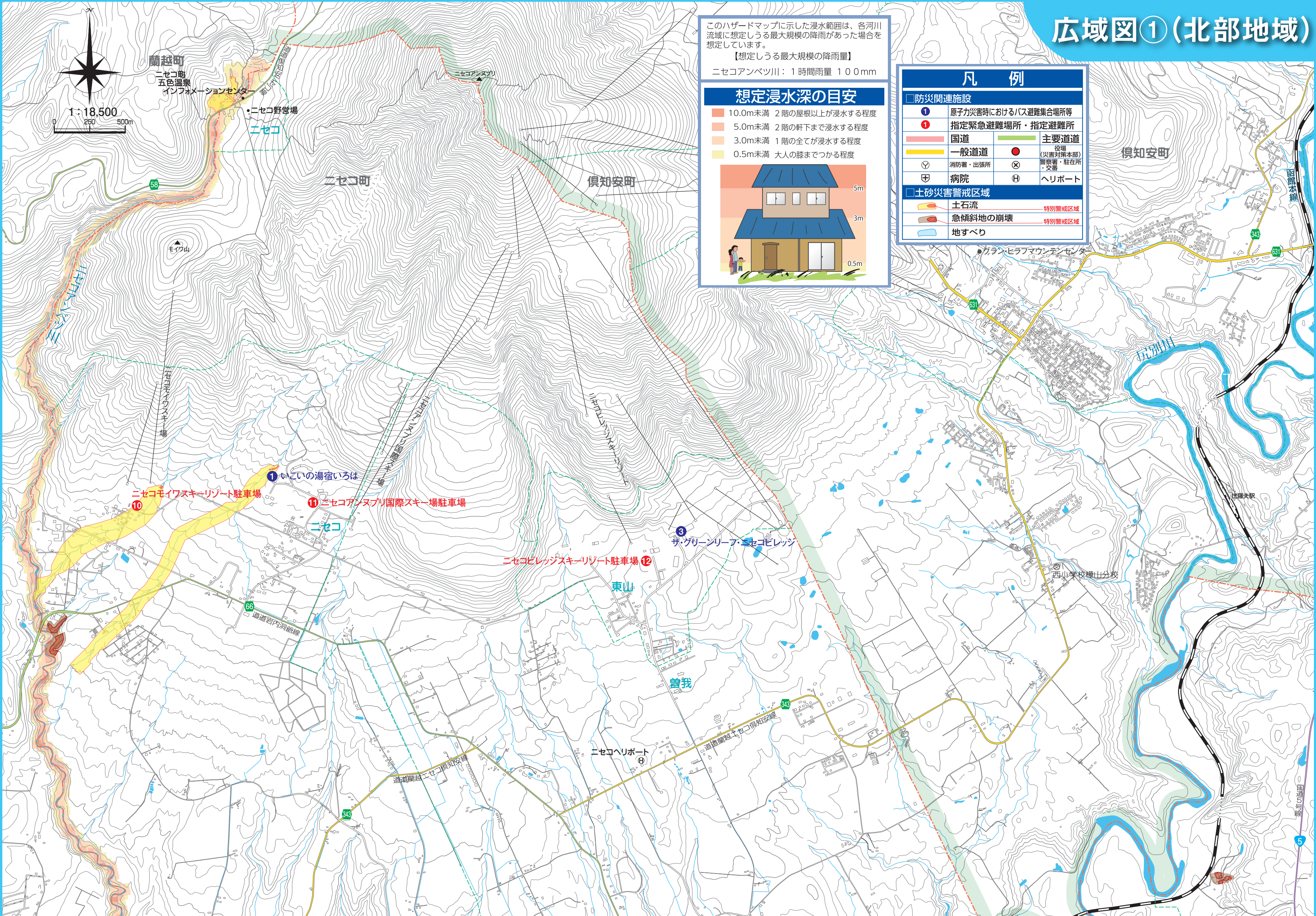
指定緊急避難場所・指定避難所

※「指定緊急避難場所」⇒ 災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として、災害の種類ごとに法令に基づき市町村長が指定します。
※「指定避難所」⇒ 災害発生時に被災又は被災するおそれがある方が、一定期間避難生活を送るための施設として、法令に基づき市町村長が指定します。

No.	施設・場所名	所在地	管理担当連絡先	避難区分		対象とする異常な現象の種類						掲載頁
				指定緊急避難場所(一時避難)	指定避難所(収容避難)	洪水	崖崩れ土石流及び地滑り	地震	大規模な火事	内水氾濫	火山現象	
1	西富地区町民センター駐車場	ニセコ町字西富171番地7	0136-58-2251	●			●	●	●	●	●	P13
2	ニセコ小学校グラウンド	ニセコ町字富士見10番地	0136-44-2252	●			●	●	●	●	●	P19
3	近藤小学校グラウンド	ニセコ町字近藤266番地	0136-44-2852	●			●	●	●	●	●	P18
4	旧宮田小学校グラウンド	ニセコ町字宮田157番地	0136-44-2121	●			●	●	●	●	●	P14-17
5	ニセコ町陸上競技場	ニセコ町字富士見138番地	0136-44-2034	●			●	●	●	●	●	P20
6	町民運動場	ニセコ町字富士見136番地	0136-44-2034	●			●	●	●	●	●	P20
7	農村公園(ちびっこ広場)	ニセコ町字富士見168番地	0136-44-2121	●			●	●	●	●	●	P20
8	運動公園	ニセコ町字富士見123番地10	0136-44-2034	●			●	●	●	●	●	P20
9	道の駅ニセコビュープラザ	ニセコ町字元町77番地10	0136-43-2051	●(AED)			●	●	●	●	●	P20
10	ニセコモイワスキーリゾート駐車場	ニセコ町字ニセコ448番地	0136-59-2511	●					●			P11
11	ニセコアンヌプリ国際スキー場駐車場	ニセコ町字ニセコ482番地10	0136-58-2080	●					●			P11
12	ニセコビレッジスキーリゾート駐車場	ニセコ町字東山2番地	0136-44-2211	●					●			P11
13	ニセコ町民センター	ニセコ町字富士見95番地	0136-44-2234		●							P19
14	ニセコ駅前温泉綺羅乃湯	ニセコ町字中央通33番地	0136-44-1100		●(AED)							P19
15	近藤地域コミュニティセンター	ニセコ町字近藤258番地35	0136-44-2121	●								P18
16	元町地域コミュニティセンター	ニセコ町字元町240番地	0136-44-2094	●								P17
17	里見地域コミュニティセンター	ニセコ町字里見67番地4	0136-44-2121	●								P14-17
18	ニセコ地域コミュニティセンター	ニセコ町字ニセコ138番地8	0136-44-2121	●								P14
19	福井地区コミュニティセンター	ニセコ町字福井379番地2	0136-44-2121	●								P14
20	西富地区町民センター	ニセコ町字西富171番地7	0136-58-2251	●								P13
21	曾我活性化センター	ニセコ町字曾我127番地1	0136-44-2121	●								P14-17
22	ニセコ小学校	ニセコ町字富士見1番地	0136-44-2252		●(AED)							P19
23	近藤小学校	ニセコ町字近藤266番地	0136-44-2852		●(AED)							P18
24	ニセコ中学校	ニセコ町字富士見143番地	0136-44-2321		●(AED)							P20
25	ニセコ高校	ニセコ町字富士見138番地	0136-44-2224		●(AED)							P20
26	ニセコ町総合体育館	ニセコ町字富士見95番地	0136-44-2034		●(AED)							P19
27	デイサービスセンター	ニセコ町字有島87番地4	0136-44-1950		●(福祉)							P17
28	ニセコ幼児センター	ニセコ町字富士見17番地	0136-44-2700		●(福祉)							P19
29	北海道インターナショナルスクールニセコ校	ニセコ町字富士見12番地	0136-55-5252		●(福祉)							P19

全体図





このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。
 【想定しうる最大規模の降雨量】
 ニセコアンベツ川：1時間雨量 100mm

想定浸水深の目安

- 10.0m未満 2階の屋根以上が浸水する程度
- 5.0m未満 2階の軒下まで浸水する程度
- 3.0m未満 1階の全てが浸水する程度
- 0.5m未満 大人の膝までつかる程度

凡例

防災関連施設	
①	原子力災害時におけるバス避難集合場所等
①	指定緊急避難場所・指定避難所
〃	国道
〃	主要道道
〃	一般道道
〃	消防署・出張所
〃	病院
〃	ヘリポート
土石災害警戒区域	
〃	土石流
〃	急傾斜地の崩壊
〃	地すべり

広域図②(西部地域)

凡例	
防災関連施設	
①	原子力災害時におけるバス避難集会所等
②	指定緊急避難場所・指定避難所
〇	国道
〇	主要道道
〇	一般道道
〇	消防署・出張所
〇	病院
〇	役場(災害対策本部)警察署・駐在所・交番
〇	ヘリポート
土砂災害警戒区域	
〇	土石流
〇	急傾斜地の崩壊
〇	地すべり
〇	特別警戒区域
〇	特別警戒区域

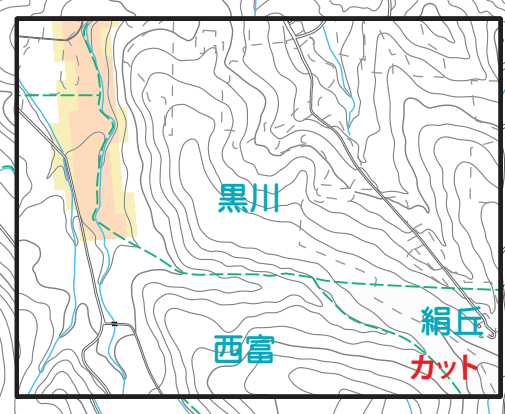
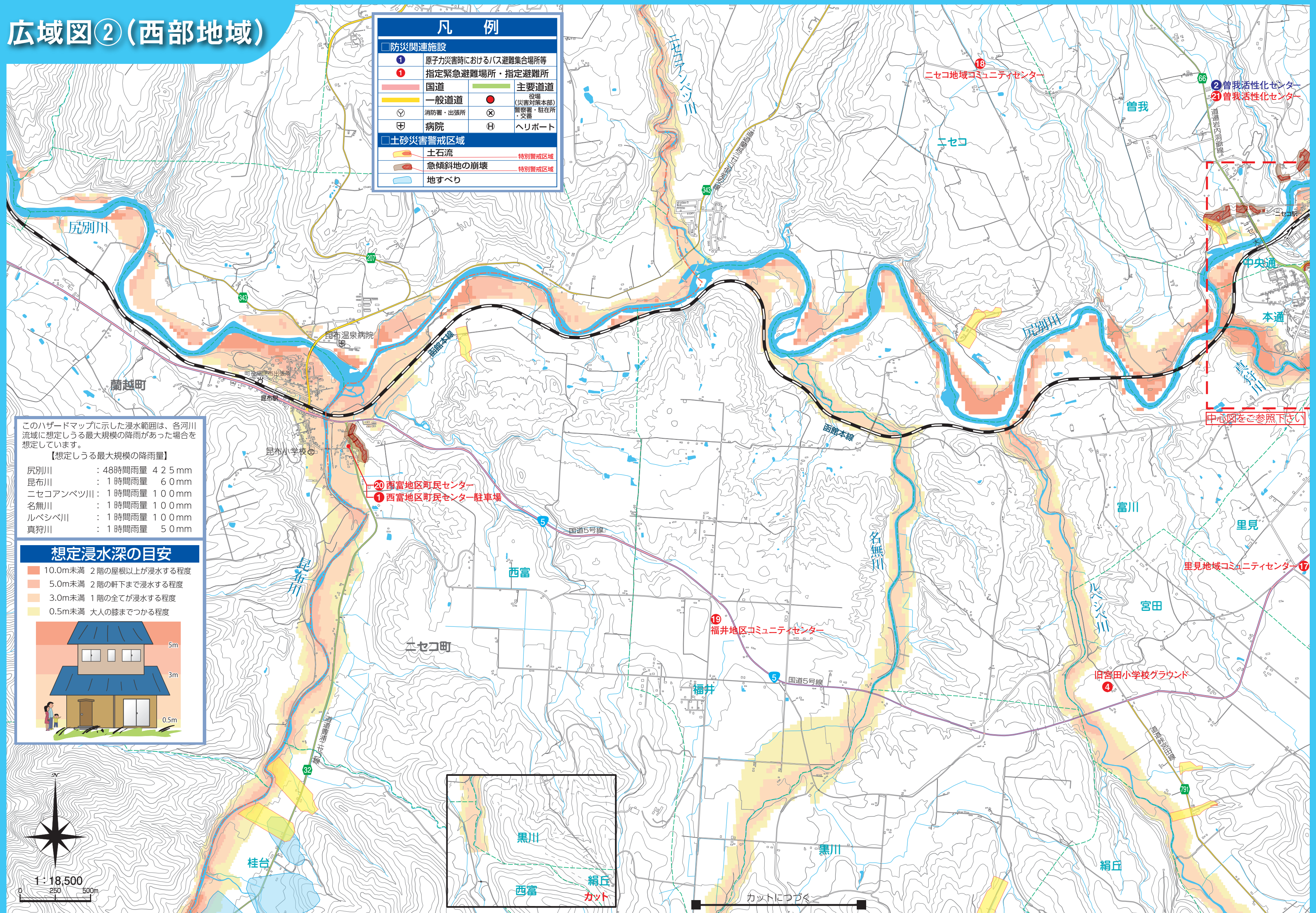
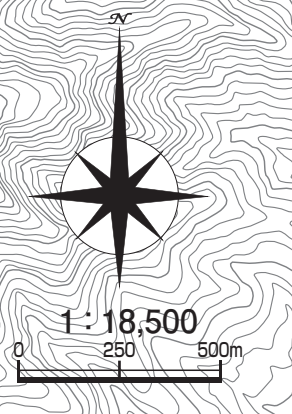
このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定する最大規模の降雨があった場合を想定しています。

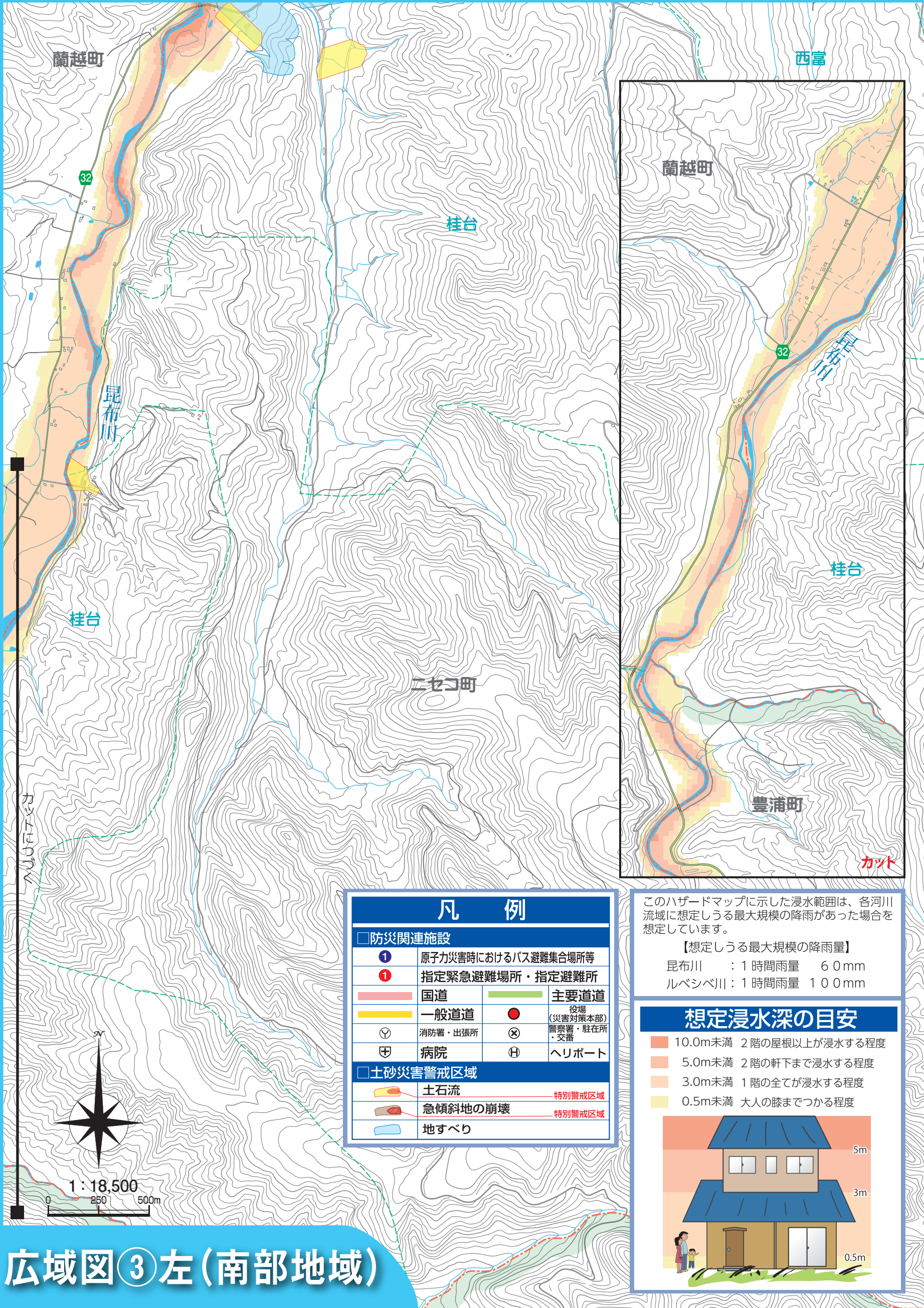
【想定する最大規模の降雨量】

尻別川	: 48時間雨量 42.5mm
昆布川	: 1時間雨量 6.0mm
ニセコアンベツ川	: 1時間雨量 10.0mm
名無川	: 1時間雨量 10.0mm
ルベシベ川	: 1時間雨量 10.0mm
真狩川	: 1時間雨量 5.0mm

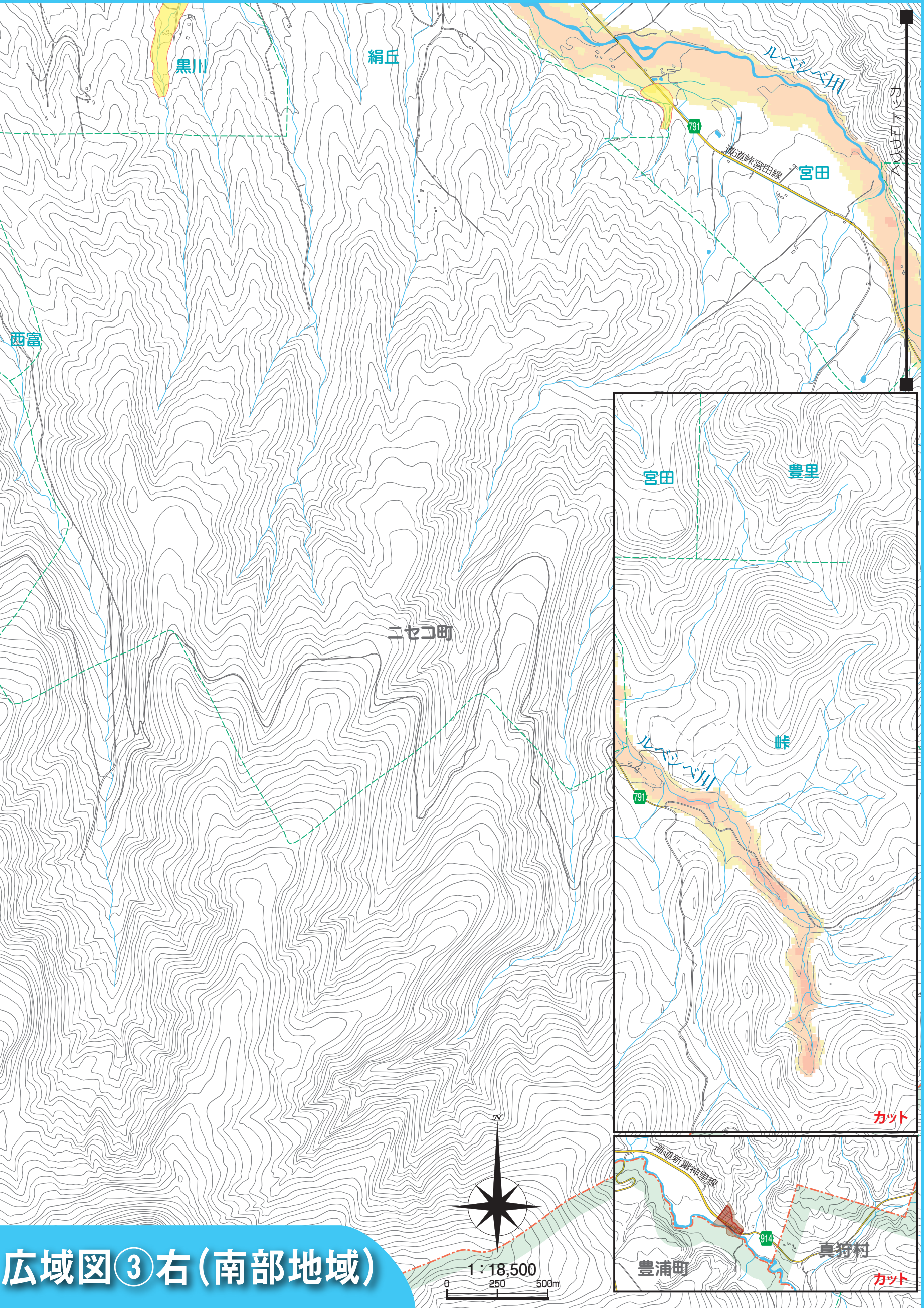
想定浸水深の目安

- 10.0m未満 2階の屋根以上が浸水する程度
- 5.0m未満 2階の軒下まで浸水する程度
- 3.0m未満 1階の全てが浸水する程度
- 0.5m未満 大人の膝までつかる程度

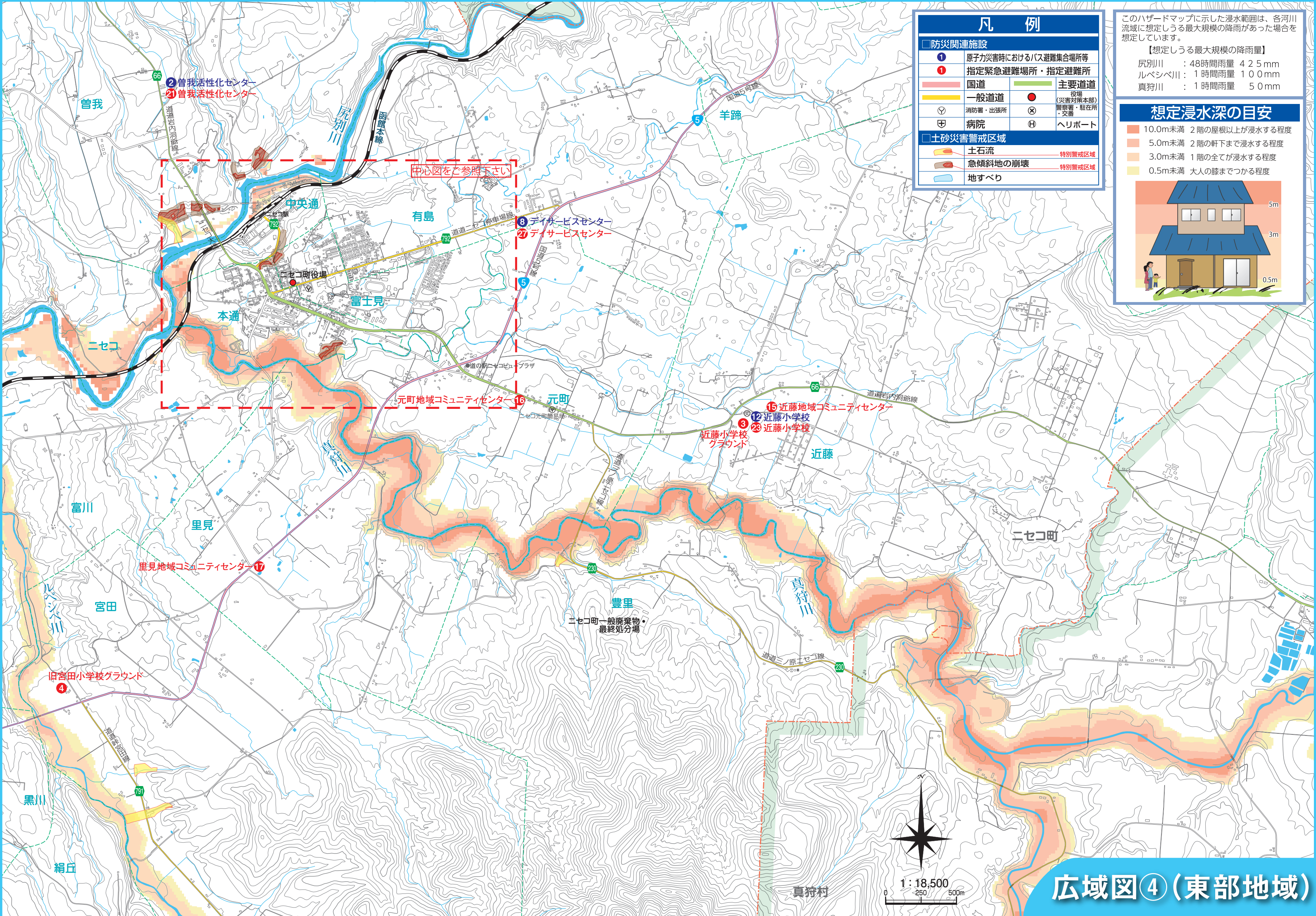




広域図③左(南部地域)



広域図③右(南部地域)



凡例

防災関連施設			
①	原子力災害時におけるバス避難集会所等		
①	指定緊急避難場所・指定避難所		
	国道		主要道道
	一般道道		役場 (災害対策本部) 警察署・駐在所 ・交番
	消防署・出張所		特別警戒区域
	病院		ヘリポート
土砂災害警戒区域			
	土石流		特別警戒区域
	急傾斜地の崩壊		特別警戒区域
	地すべり		

このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

尻別川：48時間雨量 425mm
 ルベシベ川：1時間雨量 100mm
 真狩川：1時間雨量 50mm

想定浸水深の目安

	10.0m未満	2階の屋根以上が浸水する程度
	5.0m未満	2階の軒下まで浸水する程度
	3.0m未満	1階の全てが浸水する程度
	0.5m未満	大人の膝までつかる程度

広域図④(東部地域)

中心図（市街地域）

このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

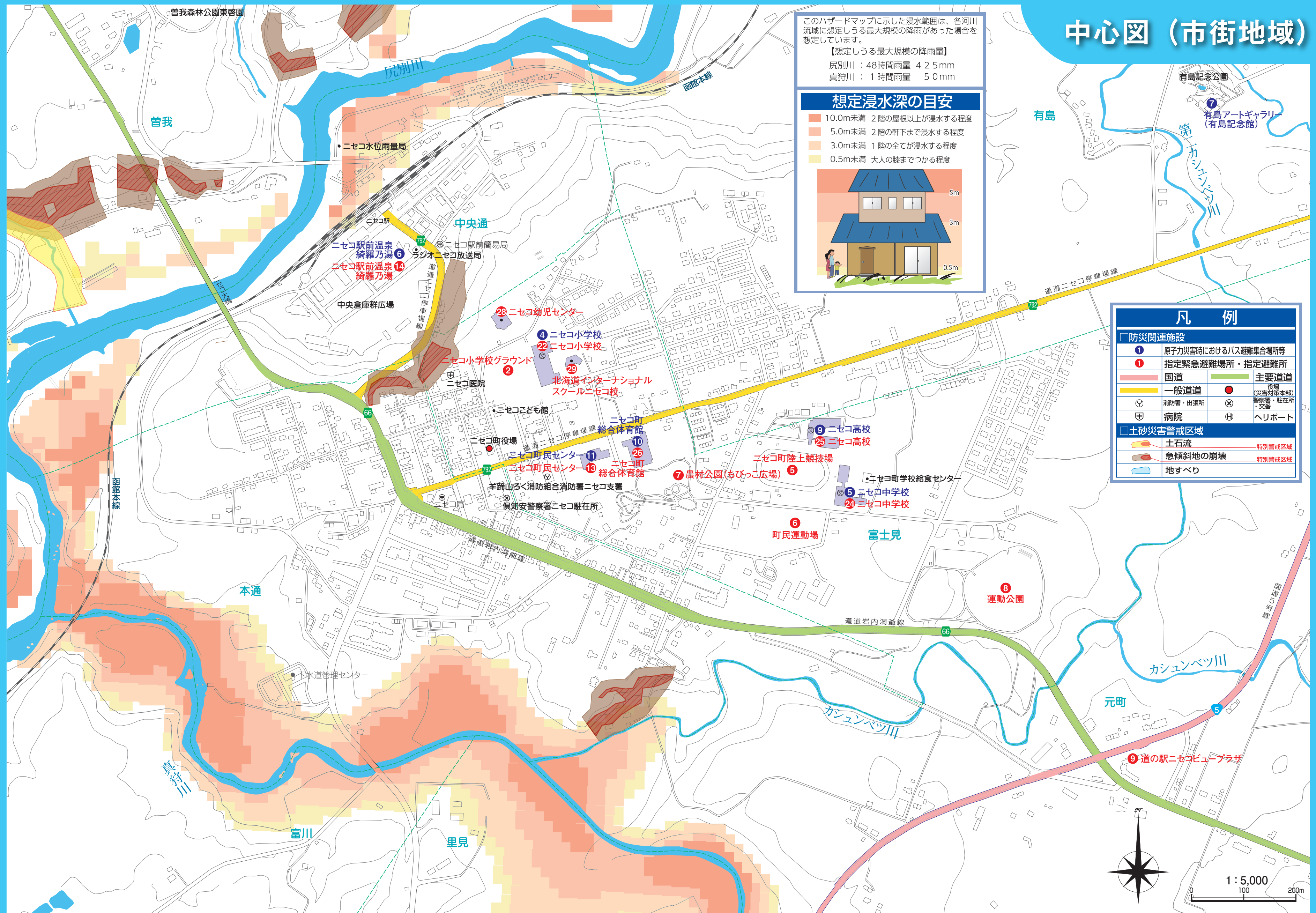
尻別川：48時間雨量 42.5mm
真狩川：1時間雨量 50mm

想定浸水深の目安

- 10.0m未満 2階の屋根以上が浸水する程度
- 5.0m未満 2階の軒下まで浸水する程度
- 3.0m未満 1階の全てが浸水する程度
- 0.5m未満 大人の膝までつかる程度



凡例	
防災関連施設	
①	原子力災害時におけるバス避難集会所等
①	指定緊急避難場所・指定避難所
国道路線	主要道路
一般道路	（災害対策本部） 警察署・駐在所 ・交番
消防署・出張所	⊗
病院	Ⓜ
ヘリポート	Ⓜ
土砂災害警戒区域	
土石流	特別警戒区域
急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
地すべり	



1:5,000
0 100 200m

特別警報をご存じですか？

特別警報は、危険度が非常に高いレベルのものを位置づけております。
早めの行動が人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

表中の”数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

火山噴火警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

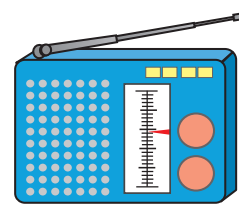
さまざまな災害の情報入手先

テレビ(リモコンのdボタン)



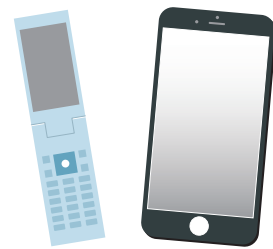
地上デジタル放送のデータ放送から防災情報を確認できます。地域で開設された避難所情報を見ることができます。

ラジオ



持ち運びもでき情報収集として災害発生時には有効な手段です。日ごろから受信状況を確認しておくことが大切です。

緊急速報メール



災害・避難情報等を、災害発生対象地区内の携帯電話やスマートフォンに同時配信するサービスです。

気象や防災に関する情報は以下のホームページなどからも入手できます。

防災情報全般

(警報・注意報/地震/竜巻など)

北海道防災情報

PC・スマホ版
<https://www.bousai-hokkaido.jp/>



携帯電話版
<http://i.bousai-hokkaido.jp/>



気象情報

気象庁 札幌管区気象台

PC・スマホ版
<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>



気象庁サイト
スマホ版
<https://www.jma.go.jp/jma/>



雨量・水位情報

国土交通省 川の防災情報

PC版
<https://www.river.go.jp/>



スマホ版
<http://www.river.go.jp/s/>



土砂災害

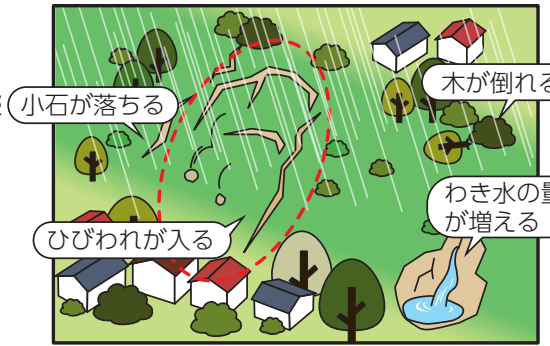
大雨などにより地中にしみ込んだ水分などが起因となり、大きな災害になる可能性があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、周辺の変化に注意して災害に対応しましょう。

土砂災害

土砂災害警戒情報とは大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で土砂災害が発生するおそれがあるとき警戒を呼びかける情報のことで北海道と札幌管区気象台が共同で発表します。土砂災害警戒情報が発表されていなくても、普段と異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と声をかけ合い安全な場所へ避難するとともに、役場や消防に連絡してください。日ごろから危険箇所や避難所・避難経路を確認しておくことも重要です。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。

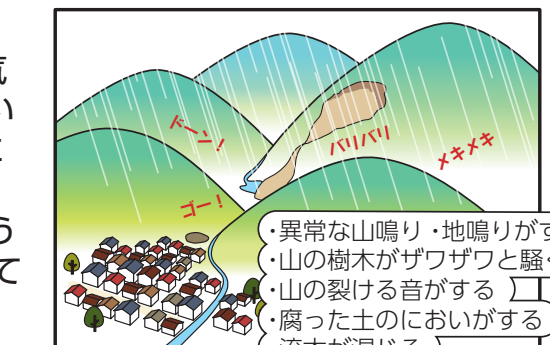


がけ崩れ発生



土石流

雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40km/hという速度で一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅させてしまいます。

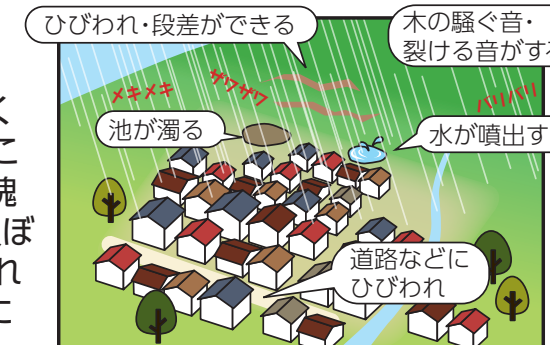


土石流発生



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動きだすと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



地すべり発生



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるといったものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

警戒区域と特別警戒区域とは

【警戒区域と特別警戒区域の設定について】

基礎調査により土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)と土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)を設定します。

警戒区域イエローゾーン
土砂災害のおそれがある区域

- 地形条件で設定する
- ・過去に発生した災害の実態から定められた地形の条件

↓

- 急傾斜地(がけ)
- ・斜面下部より高さの2倍の距離の範囲(最大で50m)
- ・斜面上部より10mの範囲
- 土石流
- ・地盤勾配2度以上の土地の範囲
- 地すべり
- ・地すべりしている土地の長さと同じ範囲(最大で250m)

特別警戒区域レッドゾーン
建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

↓

建築耐力 土砂等の力

土砂等の力と建築物の耐力を算出し、比較判定により設定する

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物の構造規制

新築、増改築を行う場合、建築確認申請の対象となります。土砂等による衝撃に対して安全な構造が求められます。

特定の開発行為に対する制限

・宅地分譲
・老人ホーム、病院などの要配慮者利用施設の建築を行うための開発行為には、許可が必要となります。

建築物の移転等の勧告

土砂災害が発生した場合、その居住者、利用者等の生命に著しい危害が生じるおそれのある建築物については、建築物の所有者や管理者が、移転等の勧告を受けることがあります。

■ 土砂災害警戒情報については、「北海道土砂災害警戒情報システム <http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>」で入手することができます。



風水害対策

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

■記録的短時間大雨情報...

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに、各地の気象台が発表します。札幌管区気象台のニセコ町 発表基準は、1時間雨量80mmとなっています。

大雨注意報

大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

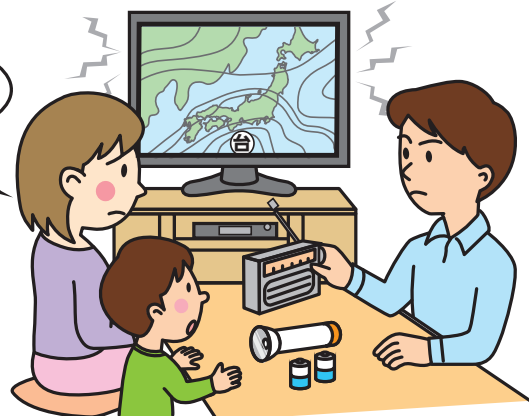
大雨警報

大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表

まずは、確実な情報が大事
その次に迅速な対応



雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	10 以上～20 未満	20 以上～30 未満	30 以上～50 未満	50 以上～80 未満	80 以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

風の強さと吹き方

平均風速 (m/秒)	10 以上～15 未満	15 以上～20 未満	20 以上～25 未満	25 以上～30 未満	30 以上～
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風	非常に強い風	猛烈な風
人への影響	風に向かって歩かなくなると傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。	何かにつかまっていなくて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。	

台風の大きさと強さ

台風は、毎年のように日本に襲来し、きわめて大きな災害をもたらすことがあります。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型 (大きい)	500km 以上～800km 未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上	非常に強い 猛烈な	44m/秒 以上～54m/秒 未満 54m/秒 以上

集中豪雨

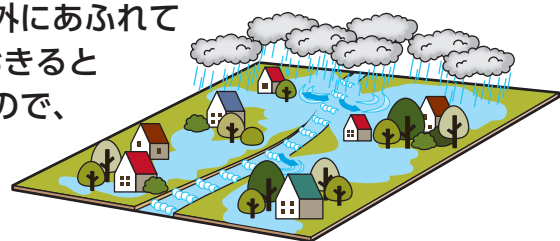
集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨です。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫...

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれて起きる洪水。氾濫がおきると一気に水かさが増すので、最大の注意が必要。



内水氾濫...

その場に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはききれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため注意が必要。



地震対策 地震発生！そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

緊急地震速報

1～2分

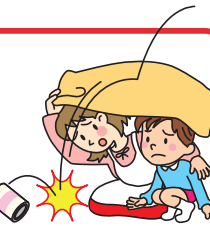
3分

5分

10分
数時間
3日

揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたら

- まず、手近な座布団などで頭を保護するなどの避難行動をとる
- 大きな揺れが来る前に、テーブルや机の下などで身の安全を確保する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱 靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、ブロック塀・自動販売機等に注意



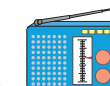
みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう ●隣近所で助け合う 災害弱者の安全確保
- 行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか
- 出火防止 初期消火 ●初期消火 ●消火器を使う ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意 ガスの元栓・電気のブレーカーを切る ●余震に注意



ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●救出・救護を ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●電話は緊急連絡を優先する
- 津波からの避難などやむを得ない場合を除き原則 車は使用しない



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 災害情報・被害情報の収集 ●無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●こわれた家に入らない
- 水、食料は蓄えているものでまかなう (3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく)



屋内にいた場合

家の中

- 緊急地震速報を見聞きしたり、揺れを感じたら、すばやく身の安全を確保する。
- 火の使用中に揺れを感じたら、揺れが収まってからあわてずに火の始末をする。(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)
- 乳幼児や病人、高齢者など災害弱者の安全を確保する。裸足で歩き回らない。(ガラスの破片に注意！)



デパート・スーパー

- カバン、買い物かごなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてず冷静な行動をとる。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

※エレベーター乗車中は全てのフロアのボタンを押して下さい。

屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などのないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報、警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

火災対策

火災発生!そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

- 「火事だ!」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければ、やかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。



2 早く消火する

- 消火器で消火する。消火器が無ければ、水バケツなどで。
- 失敗しても避難できるように、出口を背に初期消火。

火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけると石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化学繊維は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きざり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを開けて空気を絶つ。



雪害対策

大雪の日は「外出しないこと」が身の安全を守るための最善の対策です。

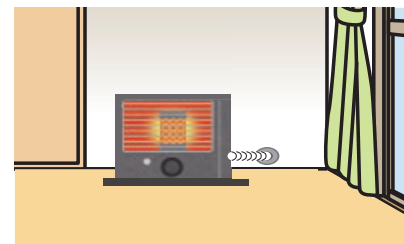
車を運転しているとき

見通しが悪い状況下では、追突事故を引き起こすおそれが高いため、ハザードランプを点灯し、ゆっくりと路肩に寄せる等無理に運転を続けないようにしましょう。



家の中ですごすとき

F F式暖房機などを使用している場合、給排気口が雪でふさがれると一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、定期的に給排気口を確認しましょう。



車で外出する場合の備え

- けん引ロープ
- 脱出板
- ブースターケーブル
- スノーブラシ
- 非常食 飲料水
- 毛布
- スコップ

雪害における停電への備え

- 使い捨てカイロ
- 電池
- 懐中電灯
- ポータブルストーブ
- モバイルバッテリー
- ラジオ
- 卓上コンロ

わが家の防災対策&チェック

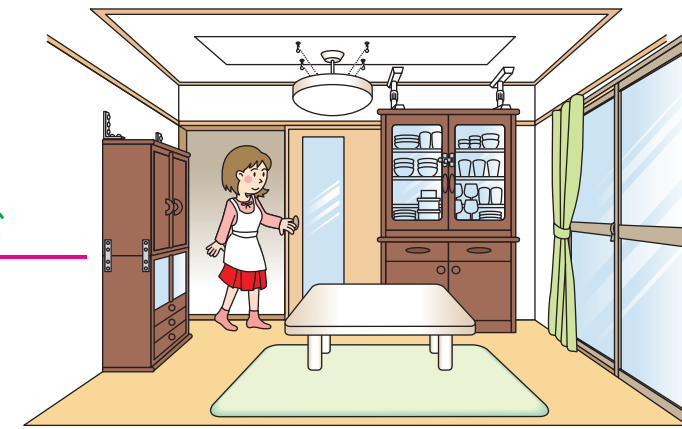
事前に準備出来ているか、にチェックしましょう。

家の中の安全対策

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

家具の転倒を防ぐ



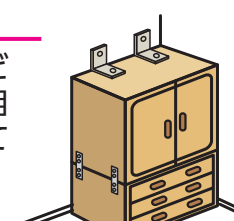
安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない



家具の転倒や落下を防ぐポイント

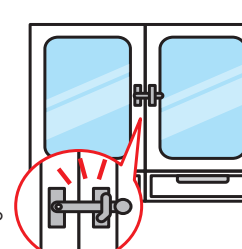
タンス・本棚

金具や支え棒などで固定。つなぎ目を金具で連結しておく。



食器棚

扉には止め金具をつけ、棚板には滑りにくい材質のふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。



照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯の両端を耐熱テープで止める。



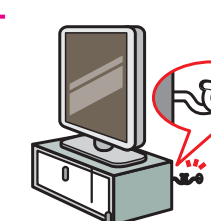
冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定。



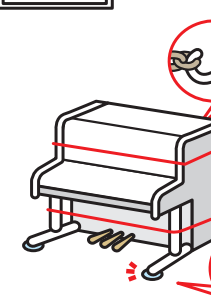
テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻き、取り付けした金具で固定。脚には、すべり止めをつける。



家の周辺の安全対策

自宅・自宅周辺の安全対策について点検しましょう。対策が出来ている箇所にはにチェックを入れ、対策が出来ていないまたは対策はできているが不安に感じる箇所については急いで対策(対策の強化)を行いましょう。

屋根

屋根の破損箇所は修理しておく。

アンテナ・煙突

不安定なアンテナ・煙突は支線・支持補強を行っておく。

窓ガラス

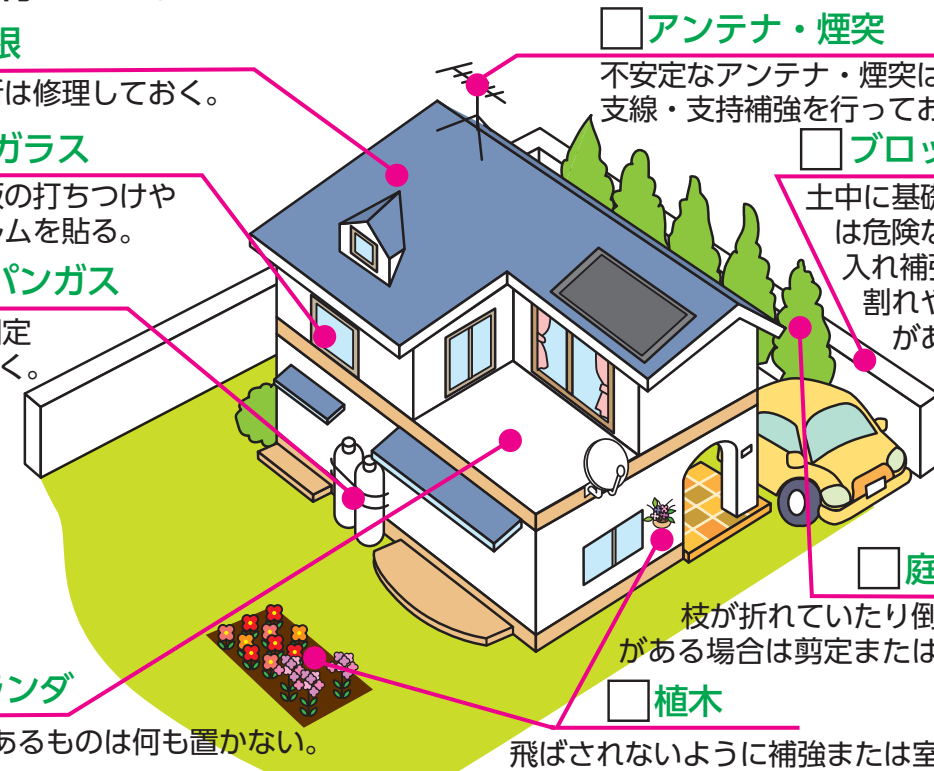
飛来物に備え板の打ちつけや飛散防止フィルムを貼る。

ブロック塀・門柱

土中に基礎がないものは危険なので鉄筋を入れ補強する。ひび割れや鉄筋のさびがあるものは修理する。

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



庭木

枝が折れていたり倒れるおそれがある場合は剪定または補修を行う。

ベランダ

落ちる危険があるものは何も置かない。

植木

飛ばされないように補強または室内に入れる。

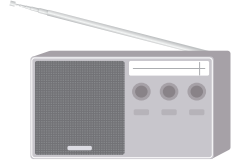
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

防災ラジオ・携帯ラジオ



- 防災ラジオ・携帯ラジオ
 - 電池(多めに用意)
- *防災ラジオは、日頃から充電しておいてください。

救急医療品



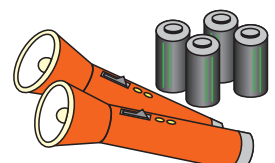
- 傷薬
- 絆創膏
- 風邪薬
- 包帯
- 鎮痛剤
- 胃腸薬

貴重品



- 現金
- 預金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書

懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

感染症対策



- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計

子供がいる家庭



- 子供用紙オムツ
- ミルク(キューブタイプ)
- お尻ふき
- 哺乳瓶
- ネックライト
- 離乳食
- 抱っこひも
- 子供の靴

女性の備え



- 生理用品
- おりものシート
- サニタリーショーツ
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー/ホイッスル

高齢者がいる家庭



- 大人用紙パンツ
- 杖
- 補聴器
- 持病の薬
- 入れ歯
- 入れ歯用洗浄剤
- 男性用吸水パッド
- お薬手帳

非常食品



火を通さずに食べられるもの、食器など

- 非常用食品
- 飲料水
- 缶切り
- 紙コップ
- 紙皿

その他



- 衣類(下着・上着など)
- ヘルメット
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- 防災ガイドマップ(本書)
- タオル
- 雨具
- ライター
- 防寒具(時季による)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



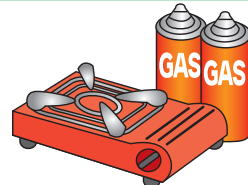
- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水したポリタンクなど

非常食品



- お米(アルファ米など)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料
- ポータブルストーブ

その他



- 携帯電話充電器
- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など
- ビニール袋
- 使い捨てカイロ

お手軽防災のススメ

ローリングストックはじめよう!

ローリングストックとは、普段使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、古くなったものから日々の生活の中で使い、使った分を買い足すことで常に新しいものを保存しておくという、新しい災害用備蓄の考え方です。「災害に備えなきゃいけないのはわかってるけど、何をすれば…」とお考えのあなた。まずはローリングストックで、簡単・手軽に防災、はじめてみませんか。

誰でも簡単! 手軽に3ステップ!
これがローリングストックだ!

